

「プログラミング基礎」学修の到達目標基準

評価項目	評価基準	レベル1 (改善が必要)	レベル2 (もう少し努力)	レベル3 (目標達成)	レベル4 (すばらしい)	重要度
プログラム開発手順		参考資料を見ながらであれば、プログラム開発の準備ができる。	参考資料を見ずにプログラム開発の準備ができ、また、コンパイルエラーに対応できる。	レベル2に加え、実行エラーにも対応できる。	レベル3までの知識を、他人に伝えることができる	20%
ソースコードの記述		参考資料を見ながらであれば、ソースコードの記述ができる。	簡単な課題であれば、参考資料を見ずにソースコードの記述ができる。	解決したい課題をソースコードで表現できる。	高速処理を可能にするなど、ソースコードを工夫することができる。	20%
制御構文の利用		制御構文の使用ができない。	制御構文の使用ができる。	必要に応じた制御構文の使い分けができる。	制御構文を複数組み合わせるなど、複雑な処理を制御できる。	20%
データ型		データ型について理解していない。	データ型について理解している。	レベル2に加え、異なる型のデータを演算する際に、適切な処置を施すことができる。	適切なデータ型を用い、無駄のないプログラム開発ができる。	20%
関数の利用		関数を使用することができない。	関数を使用することができる。	自作の関数を作成でき、使用できる。	レベル3に加え、関数中から関数を呼び出すなど、複雑な関数を作成できる。	20%